

平成26年

壱岐市議会定例会12月会議

# 行政報告

壱岐市

# 目 次

はじめに	1
（1） 壱岐市庁舎建設の検討について	2
（2） 長崎県への要望活動について	2
（3） 宝くじスポーツフェア「ドリーム・ベースボール」について	3
（4） ふるさと納税について	4
（5） 自治基本条例について	5
（6） 人口減少対策について	5
<b>○交流人口の拡大</b>	
（1） 観光振興について	6
（2） 企業誘致活動について	7
<b>○産業の振興</b>	
（1） 農業の振興について	8
（2） 水産業の振興について	10
（3） 商工業の振興について	11
<b>○市民</b>	
（1） 市立幼稚園及び保育所運営のあり方についての答申について	12
<b>○教育</b>	
（1） 長崎がんばらんば国体2014について	13
<b>○病院事業</b>	
（1） 壱岐市民病院の長崎県病院企業団加入について	15
（2） 壱岐市民病院の経営状況について	16
<b>○防災、消防・救急</b>	
（1） 防災、消防・救急について	16
（2） 原子力防災について	17
<b>議案説明</b>	
（1） 補正予算について	18
（2） その他の議案について	18
おわりに	19

# 行政報告

平成26年壱岐市議会定例会12月会議

## 〇はじめに

本日ここに、平成26年壱岐市議会定例会12月会議にあたり、前会議以降、本日までの市政の重要事項等、また今回、補正予算に計上した主な内容等についてご報告申し上げ、議員皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

さて、平成26年秋の褒章において、長年、保護司として尽力されている たかむら つぐなり らんじゅ 高村 紹業様が藍綬褒章を受章されました。

また、叙勲においては、長年、漁協女性部役員として活躍された まつお えいこ 松尾 啓子様が旭日双光章を、さらに、現壱岐市民病院看護部長の よね 米 き かずみ 城 和美様が瑞宝双光章をそれぞれ受章されました。

また、本年度の県民表彰では、消防防災功労として現壱岐市消防団長の わりいし けんめい 割石 賢明様が、産業（商工）功労として長崎県酒造協同組合理事長等努められた やまうち けんめい 山内 賢明様が、教育文化功労として長年にわたり学校歯科医としてご尽力いただいている あまこ なおき まつしま 尼子 直喜様、やすし 松嶋 泰様が、優良団体として長年、伝統的な素潜り漁等で活躍されている壱岐東部漁業協同組合海女組合様、第24回全国消防操法大会ポンプ車の部において優勝に輝いた壱岐市消防団がそれぞれ受賞されました。

この度、褒章、叙勲、県民表彰の栄に浴された皆様に対し、今日まで築かれたご功績に、深甚なる敬意を表しますとともに、心から

お慶び申し上げます。

それでは、前定例会以降、本日までの市政の重要事項等についてご報告申し上げます。

### **(1) 壱岐市庁舎建設の検討について**

11月26日に開催された市議会11月会議において、壱岐市庁舎建設検討特別委員会から「新庁舎建設の必要性あり」との報告がなされ、新庁舎の建設に向けて、新たな一步を踏み出したところがあります。今後は、場所の問題や規模並びに機能などについて、さらに多くの議論を重ねていかなければなりません。特に建設場所については、大きな論点となります。

新庁舎の建設は、本市にとって極めて重要な案件であり、壱岐市百年の大計と言えるプロジェクトであります。次の時代の壱岐を担う子子孫孫に、如何にしてよりよい、市民生活の中心的機能を果たしていく重要な役割を担う庁舎を残すか、このことを常に念頭に置き、市民皆様のご意見を賜りながら、議員皆様と車の両輪として、議論を重ねてまいる所存でありますので、引き続き、市民皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

### **(2) 長崎県への要望活動について**

11月12日に、長崎県への壱岐市及び壱岐市議会連名の単独要望を行いました。県からは、中村知事をはじめ幹部職員に対応いただくとともに、やまもとけいすけ山本啓介県議会議員にご同席をいただきました。

要望項目は、「人口減少問題への取り組みについて」「漁業燃油高騰対策について」「改正離島振興法に係る予算確保等の支援について」「道路整備について」「クロマグロの産卵期における漁獲制限について」「唐津～壱岐（印通寺）航路フェリーあずさのリプレイス事業の早期実施及び唐津長崎路線レインボー壱岐号の運行再開について」「<sup>じょうが</sup>嫦娥三島大橋、<sup>はるしま</sup>原島大橋（郷ノ浦～大島～原島）架橋の早期実現について」など11項目の要望を行ったところであります。

知事からは、重要項目についてご回答いただきましたが、この内道路整備については、その後、山本県議のご努力をいただき、永年の懸案であった県道渡良浦初瀬線（初山側）の整備が、平成27年度新規事業の坪触工区として今県議会に提案されております。事業の概要は、計画延長が2,300m、事業費が15億円、事業期間は平成27年度から平成33年度までの予定となっております。

今後も、壱岐市の単独要望については、意見交換を含め積極的に実施してまいります。

### （3）宝くじスポーツフェア「ドリーム・ベースボール」について

11月2日に、<sup>かねだ まさいち</sup>金田 正一さんや、<sup>やざわ けんいち</sup>谷沢 健一さん、<sup>むらた ちやうじ</sup>村田 兆治さんをはじめとするプロ野球OB24名の皆様が来島され、大谷公園グラウンドにおいて、市制施行10周年記念事業宝くじスポーツフェア「ドリーム・ベースボール」を開催しました。

当日、会場には、往年のプロ野球選手のプレーを見ようと、多くの市民皆様にご来場いただきました。また、壱岐文化ホールでは、

プロ野球史上唯一の通算400勝をはじめ、数々の素晴らしい記録を打ち立てた金田正一さんの講演会も行われ、ご健在な金田節で会場は大いに沸きました。

今回の「ドリーム・ベースボール」は、日本プロ野球界の歴史に名を刻む名選手に接することができる又とない機会であり、市民皆様も大いに楽しまれたものと思っております。

今後も「スポーツアイランド壱岐市」として、スポーツを気軽に楽しむことのできる環境づくりやスポーツ振興、そして次代を担う壱岐っ子の健全育成に努めてまいります。

#### **(4) ふるさと納税について**

この度、ふるさと納税のお礼の品のカタログを作成し、寄附額に応じたお礼の品の選択制やポイント制の導入など新しい制度を10月26日から開始し、東京壱岐雪州会総会をはじめ、福岡壱岐の会などでのPRを行っております。また、10月28日からホームページをリニューアルし、WEB申込みを開始した結果、新制度開始以降、12月3日現在で863件、申し込み金額1,240万9千円と全国から多くの皆様にお申し込みをいただいております。10月28日までの旧制度での申し込み金額との合計は、936件、1,379万4千円と既に昨年度の実績を大きく上回っております。

今後も、お礼の品の拡充やクレジット決済など納付方法の利便性の向上を図ってまいります。

なお、寄附額の増額に伴い、報償費などの増額が必要となったた

め、今回、所要の予算を計上しておりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

#### **(5) 自治基本条例について**

地域が抱える課題への対応やまちづくりを進めるために、自治を担う市民皆様・地域・市議会・市長・行政の役割と責任を明確にし、「自治体の仕組みの基本ルール」を定めるための自治基本条例について、これまで地区説明会や講演会を開催し、本12月会議の上程を目指していましたが、自治基本条例の根本は、市民皆様とともに作り上げるものであり、十分な協議、ご意見をいただくことが必要なことから、上程時期を来年度の目標に見直すことといたしました。現在、自治基本条例の素案を作成し、広く意見を募集するパブリックコメントを実施するとともに、11月17日に壱岐市自治基本条例審議会を立ち上げ、今後の進め方などについて協議を行ったところであります。

今後も、地元説明会や講演会などを繰り返し行いながら、市民皆様の意見を十分反映した条例の制定を目指してまいります。

#### **(6) 人口減少対策について**

国は、人口減少克服・地方創生のための「司令塔」として、本年9月12日に「まち・ひと・しごと創生本部」を立ち上げました。

その後、地方創生の基本理念を定めた「まち・ひと・しごと創生法」と、活性化に取り組む自治体を国が一体的に支援する改正地域

再生法が11月21日の参議院本会議で可決、成立したところであり  
ます。

今後、国は「長期ビジョン」、「総合戦略」を年内に策定し、地方  
における取り組みを積極的に支援していくこととされており、本市  
においても、来年度「地方人口ビジョン」や「地方版総合戦略」を  
策定することとしております。そのため、この人口減少問題への取  
り組みを、各分野が連携して行うことが重要であることから、11  
月26日に、壱岐市人口減少対策会議を立ち上げ、協議をはじめた  
ところであります。また、企画振興部政策企画課内に「壱岐市人口  
減少対策会議事務局」を設置し、総合戦略策定や人口減少問題への  
取り組みを推進してまいります。

## ○交流人口の拡大

### (1) 観光振興について

本市における観光客数を推計するうえで参考となる九州郵船と  
オリエンタルエアブリッジの本年8月から10月までの乗降客数累  
計は、207,947人、対前年比94.8%で、昨年と比べ減少  
している状況にあります。これは、8月の2度の台風や10月の台  
風等による交通の乱れ、欠航の影響によるものと考えております。

このような中、情報発信及び誘客活動として、9月に広島市と博  
多駅、11月には兵庫県と東京都で開催されたアイランダーにおい  
て観光物産展を行い、さらに愛知県で開催された「ゆるキャラグラ

ンプリ」において、着ぐるみ「人面石くん」の参加や、福岡市で開催されたKBCラジオフェスタ等へ積極的に参加し、PR活動を行ったところでもあります。

今後も、あらゆる機会を利用し、観光PRや物産販売を行うとともに、県内離島の自治体や観光連盟と提携し、島の魅力の情報発信に取り組んでまいります。

外国人誘客いわゆるインバウンドの取り組みについては、日帰り客を含めると、本年1月から10月末現在で約450人の方々にご来島いただいております。

現在、台湾旅行会社3社と、香港旅行会社が福岡市と連携した旅行商品を造成しているところであり、今後のツアー成約に期待しております。

今後の予定として、来年1月にパワーブロガー、いわゆる写真と記事をブログに投稿する方々であります。そのブロガーの台湾からの招聘についても予定しております。

また、海外から招聘する予定の中学生のバレーボールチームについて、7月に台湾の台南市長とお会いした際、ぜひチームを送りたいとの意向を受け、今回、所要の予算を計上しておりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

## **(2) 企業誘致活動について**

企業誘致活動については、人口減少対策及び雇用拡大対策における有効な施策のひとつであります。

本市では、整備されている高速通信インフラという強みを活かせる情報通信関連企業や、離島のデメリットである輸送コスト問題の影響が少ない軽量かつ高付加価値製品の製造業をターゲットとして誘致活動を行っているところであります。去る10月15日に、長崎県産業振興財団からの情報提供を受け、壱岐出身者の方が経営しておられる福岡市内の企業にトップセールスを行ったところであります。

今後も、長崎県や長崎県産業振興財団等と連携を密にし、誘致企業の情報収集に努めるとともに、企業側からの立地に係る問い合わせ等に即時に対応できるよう、物件情報の収集整備や雇用確保体制の確立、助成制度の拡充などに取り組んでまいります。

## ○産業の振興

### (1) 農業の振興について

本年度の水稲作況指数は、長崎県全体では97%でしたが、本市においては、102%で「やや良」との発表がなされました。

早期米の「コシヒカリ」は、倒伏による登熟障害等により、1等30.8%、2等69.2%であった一方、本格作付けの高温耐性のある「つや姫」は1等90.8%、2等9.2%の好成績で、収量・品質とも今後に期待の持てる結果となっております。普通期米については、1割程度の検査実績ではありますが、「にこまる」が、2等97.1%、3等2.9%と日照不足及び台風後の倒伏等による

品質低下の被害を受けた一方で、「ヒノヒカリ」は、1等100.0%となっております。また、本年産の米価については、全国的な米余りにより低い価格水準で取引が行われており、農業経営への影響を危惧しております。

葉たばこについては、コーカー319への品種転換があり、農家の皆様には戸惑いもあったかと思われますが、本年は天候にも恵まれ、10月8日から16日にかけて行われた収納・販売では、収量が241kgで、1kg当たり代金は2,085円で、10a当たり代金が503,260円となり、前年度比119%の成績でありました。

施設園芸のアスパラガスについては、収穫面積13.7ha、10a当たりの販売金額は、2,445,721円で8年連続県内トップの反収を誇り、26年度販売金額は3億3千万円となっております。これもひとえに生産農家皆様のご精進とJA壱岐市の積極的な取り組みの賜と思っております。

畜産については、全国的な繁殖農家の減少に伴い、子牛の販売価格は高値で推移しております。12月市では、平均590,020円で前回比103.47%の成績で、市場開設以来の高値となっております。

しかしながら、高齢化や後継者不足などによる繁殖牛の飼養頭数が減少しており、今後もJA壱岐市をはじめ関係機関、団体と連携を図り、産地維持のため、繁殖基盤の強化に努めてまいります。

また、国の農業施策で、本年スタートした農地中間管理機構につ

いては、1法人の約21haが中間管理機構を通じて12月に契約予定となっております。現在、36特定農業団体を重点的に、法人化の説明会を開催しており、平成27年度の農地中間管理機構を通じての契約締結農地の集約化を行ってまいります。

農地・農業用施設等災害については、7月、8月の集中豪雨による被災申請箇所8地区の現地査定が実施され、その結果、平均査定率が97.7%、査定額が2,524万1千円となっております。

今後、早急に事務手続きを進め、復旧工事に着手してまいります。

## **(2) 水産業の振興について**

本年4月から10月までの本市の漁獲量及び漁獲高を昨年同期と比較すると、漁獲量は1,495トンで10.0%の減であり、漁獲高は12億8千万円で19.7%の減となっております。主な要因は、9月から10月にかけての台風などによる天候不良が考えられます。

燃油価格高騰対策については、平成25年7月から漁業用燃油1リットル当たり10円の市単独補助を行っておりますが、国においては、漁業用燃油等の価格上昇が経営に及ぼす影響を緩和する仕組みとして、漁業経営セーフティネット構築事業が実施されています。この制度について、「26年度末をもって終了予定の特別対策発動ラインを継続」、「セーフティネットの特別対策発動ラインの通常対策分現行制度までの引き下げ」や「発動基準の平均価格の算出根拠を見直し、原油高騰が始まった平成16年3月以前の価格を基準とする程度まで引き下げること」の趣旨で県に対し国への働きかけを要

望したところであります。

また、クロマグロの産卵期における漁獲制限については、本年8月に水産庁から、資源管理方針「太平洋クロマグロの資源状況と管理の方向性」が示され、さらに11月17日には国際自然保護連合（IUCN）において、漁獲量が減少している太平洋クロマグロが、今回新たに「絶滅の危険性が増大している」として絶滅危惧種に指定されました。今後、世界最大の消費国である日本に対し、保護の強化を求める国際世論の高まりが予想される中、資源を回復させるための「適正な資源管理」の実現に向けた取り組みは、まだ不十分なものがあります。今後、マグロ産卵期における漁獲量調査を行うとともに、幼魚の漁獲制限のみでなく、産卵を控える成魚の漁獲制限の実施に向け、各関係機関などへの働きかけを行ってまいります。

今後も、非常に厳しい状況にある水産業の振興に、各漁協をはじめ関係機関、団体と連携を図りながら、全力で取り組んでまいります。

### **（3）商工業の振興について**

しま共通地域通貨事業「しまとく通貨」の長崎県全体の販売状況は、10月末現在で56万9,302セットを販売しており、既に年間販売予定額である60万セットの94.9%に達しております。

これは、「しまとく通貨」の存在が、旅行者の皆様の中に浸透してきている表れであると考えております。また、旅行会社においても「しまとく通貨」を活用した旅行商品が多く造成されており、特

に本市は、他の市町と比べて旅行商品での活用が著しく多い状況となっております。

このような状況に鑑み、しま共通地域通貨発行委員会での協議の結果、「しまとく通貨」の発行数を30万セット追加することとなりました。今回、所要の予算を計上しておりますので、ご審議を賜りますようお願いいたします。

## ○ 市民

### （１）市立幼稚園及び保育所運営のあり方についての答申について

去る11月25日に、壱岐市子ども・子育て会議から「壱岐市の公立幼稚園及び保育所運営のあり方について」の答申がなされました。

これまで、子ども・子育て会議の前身である、幼保連携子育て支援検討委員会会議を含め21回の会議において、終始熱心に協議・検討がなされ、この度、答申をいただいたところであります。

答申内容の概要は、幼稚園・保育園連携型認定こども園の創設、現有幼稚園・保育園の統廃合による認定こども園化、へき地保育所の統廃合による認定こども園の創設と認可保育所・小規模保育施設化、民営化などの検討となっております。

今後、この答申を踏まえ、さらに検討を行い、平成27年度から31年度までの5カ年の中で実現を目指し、子ども・子育て支援の充実を進めてまいります。

## ○ 教育

### (1) 長崎がんばらんば国体2014について

10月12日から22日まで開催された第69回国民体育大会「長崎がんばらんば国体」と、11月1日から3日まで開催された第14回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会」は、県民・市民皆様のご声援や、ご協力をいただき、長崎県チームが、「天皇杯」を獲得するなど、素晴らしい成績と感動を残して無事終了いたしました。

壱岐市で初めての国体競技会場となりました2つの競技の内、自転車競技（ロード・レース）は、台風の影響で出発できなかった沖縄県を除き、各県の選手・監督285名が自転車を積む車両約60台と共に来島されました。また、全国から選任された競技役員104名、陸上自衛隊対馬警備隊の隊員50名が車両20台と共に競技支援のため来島され、さらに、視察員や地元競技役員約50名も加わり、監督会議やコース視察等の一連の業務を済ませ、準備を整えていましたが、台風19号の接近により、10月13日のレース本番は、残念ながら中止となりました。翌日からは佐世保競輪場でトラック・レースが行われるため、本市でのレース後に佐世保へ向け出発の予定でしたが、全員連泊されたため、佐世保市では日程を変更してトラック競技が行われたところでもあります。これまで、自転車競技（ロード・レース）にご協力いただきました、消防団、自治公民館、交通指導員をはじめ関係機関、市民皆様に厚くお礼申し上げます。国内トップクラスのレースを見ることはできませんでし

だが、壱岐市挙げてのおもてなしの受け入れ体制は、ご来島いただいた方々や全国の関係者皆様に伝わったものと思っております。

一方、ソフトボール競技（成年女子）については、全国のブロック予選を勝ち抜いた13チーム256名の選手・監督をはじめ、県内・近県から選任された競技役員81名、視察・報道員約50名が来島され、10月18日から20日にかけて熱戦が展開されました。

試合前日の10月17日には、壱岐文化ホールで監督会議や審判員会議を開催し、その後の選手を交えたオープニングセレモニーでは、アトラクションに壱岐商業高校の見事な太鼓演奏と武生水保育所の園児によるかわいいダンスが大変好評でありました。また、選手宣誓では、長崎県チームの佐藤主将による、「壱岐でイキイキとプレーします。」との力強い宣誓で、大会の幕が上がりました。

10月18日に行われた一回戦の地元長崎県対群馬県の試合は、緊迫した接戦となり、長崎県チームは、惜しくも1対2で敗れましたが、壱岐市出身の豊永<sup>とよなが</sup> 優<sup>ゆう</sup>投手の熱投に多くの市民皆様が感動されたものと思っております。

また、同じく10月18日には、大谷公園ソフトボール球場で、宇津木<sup>うつぎ</sup> 妙子<sup>たえこ</sup>元全日本監督による、小・中学生を対象にした「ソフトボール教室」が開催されました。さらに、10月20日には、小中学生の観戦も行われ、トップアスリートの勇姿を間近で見ることができ、児童・生徒の皆さんにも大きな刺激になったと思っております。

多くの市民皆様に「おもてなしの心」で歓迎していただくととも

に、花いっぱい運動のボランティアをはじめ、様々な形で国体にご協力、ご参加いただきました。ここに改めて厚くお礼を申し上げます。

本市で国体が開催できたことを誇りとして、市民皆様のスポーツ推進や健康推進の機運をさらに高めていきたいと思っております。

## ○ 病院事業

### (1) 壱岐市民病院の長崎県病院企業団加入について

壱岐市民病院の長崎県病院企業団加入については、10月10日の記者会見で発表したとおり、9月会議にて議決を受けた壱岐市の病院企業団加入にかかる規約の変更協議の議案が構成団体である長崎県及び県内5市1町においても議決されました。その後11月7日付で、総務省から病院企業団へ規約変更の許可通知が届き、規約変更が認められたところであります。

また、11月13日から14日にかけて、企業団本部職員に同席いただき、壱岐市民病院に勤務する医療技術職職員に対して、説明会を実施し、割愛採用による身分移管の手続きなどについて説明いたしました。現在、職員の意向調査を実施中であり、身分移管の意思確認を行った後、企業団職員として採用する手続きを進めることとしております。

## **(2) 壱岐市民病院の経営状況について**

壱岐市民病院の経営状況については、上半期の経常収支が、外科の常勤医師不在の状況がありながら、概ね均等収支となっております。しかしながら、地方公営企業の新会計制度移行により上半期の支出の一部を特別損失で計上処理したことから、今年度の決算見込みとしては、マイナス決算となる見込みであります。

病院事業会計予算については、現在、使用していない旧かたばる病院の院長公舎の処分経費などの所要額を計上しておりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

## **○防災、消防・救急**

### **(1) 防災、消防・救急について**

11月8日に、東京都で開催された第24回全国消防操法大会において、壱岐市消防団芦辺地区第1分団がポンプ車操法の部で優勝し見事日本一に輝きました。長崎県代表、壱岐市消防団としては、実に2大会連続の日本一という快挙を成し遂げました。

このことは、選手、関係者皆様のチームワークと長期に亘る厳しい訓練の成果であるとともに、ご家族皆様、職場の皆様、地域の皆様の支えの賜物であり、ここに深甚なる敬意と感謝を申し上げる次第であります。

市民皆様はもとより、多くの離島地域にも勇気と元気を与えていただき、壱岐市を大いにPRしていただきました。こうした功績が

認められ、冒頭ご紹介したとおり、壱岐市消防団は、県民表彰を受賞されましたが、これはまさに、壱岐市の防災力の高さが認められたものであります。今後も壱岐市消防団をはじめ関係機関と連携を図り、防災対策に全力で取り組んでまいります。

本年1月から11月末現在の災害発生状況は、火災発生件数25件、救急出動件数1,544件となっており、昨年同期と比較しますと、火災は同件数で、救急が72件の増となっております。これから年末年始にかけて、火災の発生しやすい時期となりますので、火の取り扱いなどには十分ご注意くださいようお願いいたします。

## **(2) 原子力防災について**

11月14日に、本市で2回目となる原子力安全連絡会が開催され、市、県、九州電力、各関係機関の代表18名が出席し、玄海原子力発電所に関する防災対策などの情報の共有化と意見交換を行ったところであります。

なお、来年1月24日には、3回目となる—玄海原子力発電所での放射能漏れ事故を想定した平成26年度長崎県原子力防災訓練が本市を含めた県内4市と、長崎県、佐賀県、福岡県の3県合同で開催されます。情報収集伝達訓練、災害対策本部設置・運営訓練、緊急時モニタリング訓練、緊急被ばく医療訓練、広報訓練、住民の避難・誘導訓練、島外への広域避難訓練などが実施される予定となっております。

今後も実践的な訓練を積み重ねながら、原子力防災対策に関係機関とも連携して取り組んでまいります。

次に議案関係についてご説明いたします。

### **(1) 補正予算について**

本議会に提出しております補正予算の概要は、

一般会計補正総額 1, 216万3千円

各特別会計の補正総額 487万3千円

となり、本定例会に提出いたしました一般会計、各特別会計の補正額の合計は、

1, 703万6千円

となります。なお、現計予算と合算した本年度の一般会計予算は

222億7, 048万6千円

で、特別会計については

107億4, 204万3千円

となります。

また併せて、病院事業会計、水道事業会計についても、所要の補正予算を提出しております。

### **(2) その他の議案について**

本日提出いたしました案件の概要は、条例の制定及び一部改正に係る案件7件、公の施設の指定管理者の指定案件2件、予算案件8件、各辺地に係る総合整備計画の策定1件、合計18件であります。

案件の詳細については、担当部長、課長等から説明をさせますのでご了承願います。

何とぞ十分なご審議をいただき、適正なるご判断を賜りますようお願い申し上げます。

## おわりに

以上をもちまして、前会議以降の市政の重要事項また政策等について申し述べましたが、様々な行政課題等に対し、今後も誠心誠意、全力で取り組んでまいる所存でありますので、議員皆様並びに市民皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、行政報告といたします。

平成26年12月5日

老岐市長 白川博一